第2回第3次かほく市総合計画審議会

議事概要

日 時：令和7年3月10日（月）13:08～13:44

場 所：かほく市役所2階 議会会議室

1. 開会
2. 審議案件について
①市の方向性及び基本理念策定に係る市の今後の課題について
3. 事務連絡
4. 閉会

委員名簿

整理番号	選出組織・団体	職	氏名	出欠
1	かほく市商工会	会長	南 春夫	欠
2	石川かほく農業協同組合	代表理事専務	村井 一宏	出
3	石川県立看護大学	教授兼附属図書館長 DX推進委員会委員長	小林 宏光	出
4	金沢学院大学附属高等学校	副校長	谷内 正樹	出
5	かほく市町会区長会連合会	会長	西田 省三	出
6	かほく市女性協議会	会長	松村 千恵	出
7	株式会社 北國銀行	公務部部長	山田 泰輔	出
8	金沢公共職業安定所	所長	佐々木 利弘	出
9	株式会社 P F U	取締役常務執行役員 地域貢献部部長	宮内 康範 松田 千穂	欠 代理
10	かほく市社会福祉協議会	常務理事	越井 謙一	欠
11	かほく市	副市長	竹本 重久	出

1. 開会

2. 審議案件について

①市の方向性及び基本理念策定に係る市の今後の課題について

・事務局より、市の方向性及び基本理念策定に係る市の今後の課題について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委 員)

・海外で定住施策を進める際に最近重要視されていることの一つに教育があげられる。住みやすさ+教育ということで、かほく市はアンケート結果からも居住環境は充実していると思われるので、教育に特色を出すという事を時期総合計画で検討でもいいので行ってはどうか。若者に求められるスキルが大きく変化している状況で、これまでの知識をインプットするという昔の形よりも、いかに IT を活用しながら競争力を持った人材を育成するかということが大切となってくると思うので、専門的な知識を身に着けるようなスクールのようなものを、企業誘致のように誘致することができれば、Uターン、Iターンで戻ってくるような人達へのアピールポイントになるのではないかな。

(委 員)

・移住先を選ぶポイントとして教育は大きなファクターとなる。外から入る人にとって教育環境が充実しているかどうかということは重要だと考える。
・かほく市には高校がないが、市民の声として、学校(高校)が遠いというような声はあがっているのか。

(事務局)

・市への投書で高校を作るべきという声は確かにある。

(委 員)

・高校が一つあっても、すべての進学ニーズをカバーできるわけではないので、どちらかといえば高校への通学手段が備わっているかどうかの方が重要である。

(委 員)

・かほく市は高校への通学定期に半額の補助を行っているので、市内に高校が無いことに対し保護者が不満に思っているということはそんなにはないと思う。もしも、将来的にかほく市に高校を作るという事になれば、普通科は金沢へ行けばたくさんあるので普通科ではなく、専門性を学ぶことができる学科であれば、その学校へ通いたいという方が転入してくるきっかけになるのではないかな。

(委 員)

・通学定期の補助に関して、かほく市は他の市町から比べて非常に充実しており、また市内の学校が荒れているといこともない。高校がかほく市にあった方がという話についても、実際能登地区の方では高校の再編に大変苦勞しており、なかなか定員が集まらないという状況の

中で、新たな高校を作るということは現実的ではない。

- ・市内の学校に勤務していた折り、転入してきた方に、なぜかほく市を選ばれたのかという事を聞いた際に、やはり1番の理由は定住支援があったからという事を挙げられていた。2つ目が、子育て環境の充実、そして3つ目に教育環境の充実が挙げられていた。かほく市の学校は施設が非常に素晴らしいということを皆さんおっしゃっていた。中学生が高校に進学した際に、中学校の校舎が立派であったことを実感したということをよく話に聞く。ただ、今後やはり進めていかなければならないのはやはり教育の質的な向上ではないかと思う。これは、いわゆる学力の向上やいじめが少ないということはもちろんあるが、大事な事は、今、多様な子供たちがいるので、その子達を支援していく体制があり、安心して子供たちを預けることができる環境を作っていくことであると思う。

(委員)

- ・昨今、高校授業料の無償化という話題も出ているが、今後起きてくる事象として、私立中学校の受験者が多くなるという事が考えられる。その時に市の中学校が選ばれるかという問題に直面する。市の中学校の魅力を上げるという意味で中高一貫校というような方法も考えられる。
- ・教育には交通インフラが絶対に必要であると考えている。高校への通学の支援は定期の補助で充実しているという話があったが、市内の交通インフラが充実していなければ、子ども達が自立して学校以外へ行こうと思ったときに困るので、自動運転など、そのような技術も活用しながら都市化を目指していければよいと思う。

(委員)

- ・人口について、かほく市の外国人人口の現状や将来予測に関して事務局にデータ等はあるか。また、他の自治体で外国人とのトラブルが起こっている地域もあるという報道もあるが、かほく市ではそのような事はないのか。

(事務局)

- ・外国人人口はかほく市においても増加傾向にある(2月末現在で男性289名、女性165名、合計454名)。特に製造系の企業で、研修生という形で、東南アジア、中国の方々が多く勤務されている。現在のところ外国人とのトラブルに関する問題は把握していないが、今後、そのような問題が発生しうるということを想定したうえで、外国の文化を理解したり、逆に、外国の方に日本のルールや文化も理解してもらおうという事も必要であると考えてるので、今後検討させていただければと思う。

(事務局)

- ・外国人の転入転出は市内の企業業績とも非常にリンクしており、人口の推移が大変掴みにくい。

(委員)

- ・働きに来ている外国の方が、こちらで結婚し所帯を持つということはないのか。また、地域によっては小学校に相当な割合の外国人がいるという話もあるが、かほく市内ではそのような状況はないのか。

(事務局)

- ・数年で帰国される方が多いので、そのようなケースはほとんどない。家族連れで来られる方もほとんどいないので、小学校で外国人の割合が多いということも現状ではない。

(委 員)

- ・埼玉県道路陥没事故といった最新のトピックスも入っているので、例えば災害に関するこ
とで、大船渡市で大規模な林野火災などもあったので、このような事も踏まえて考えていく
必要があるのではないか。

(委 員)

- ・かほく市には魅力的な風景や名物が多くある。地元の人が気付いていないが、外の人には魅
力的に見えるものもまだまだあるのではないか。

3. 事務連絡

4. 閉会

以上